

## 中国の農村・へき地における教育 —先行研究を中心として—

### Education in the Chinese Countryside —Summary and Bibliography of Previous Research—

畢 春玲\*<sup>1</sup>  
(syunrei\_jp@yahoo.co.jp)

柯 勁松\*<sup>2</sup>  
(jingsongk@hotmail.com)

キーワード：中国農村教育 へき地教育 先行研究 農村教育関係文献リスト 教育改革

---

This reference report summarizes the research on Chinese education in rural or isolated districts of China in the 1980s and 1990s. It includes an extensive bibliography on the subject.

---

#### はじめに

膨大な人口を持つ中国は、1978年に「改革・開放」政策を実施し始めて以来、高度な経済成長が続き、好調な進行を見せつつある。「改革・開放」政策の下で、経済発展を目的に社会の各分野にわたり様々な改革が行われてきた。教育改革もこの政策の柱であり、1987年の中国共産党第13回全国代表大会では、科学技術の発展と共に、経済発展戦略における「最も重要な課題」と位置づけられた。さらに、1992年、党の第14回全国大会では教育を優先的に発展させる戦略的地位に置くべきとされ、国民の資質向上が近代化実現の根本であると強調され、2000年までに「両基」、すなわち「基本的に9年制義務教育を普及」と「基本的に青年・壮年層（15-50歳）の非識字者を無くす（文盲一掃ともいう）」という目標を定めていた。当時、7割強の農村人口を有する中国では、「両基」実現のキーポイントがやはり農村教育であり、その中でも特にへんぴな漁山村、牧畜地域などの経済、文化、交通諸条件に恵まれない地域では、教育普及と人材養成の問題が深刻である。1994年に中国国家统计局が全国の約4.6億の農業従事者<sup>(注1)</sup>を対象に行った無作為抽出調査の結果は、文盲・半文盲の割合が22.6%、小学校卒業程度が38.7%で、併せて6割以上を占める。

このような状況では農業、農村経済、ひいては国民経済の発展が大いに制約されている。農村教育においても、長年にわたって「受験偏重」教育の悪影響で教育は農村経済と地域社会から離れ、盲目的に進学率を追求し、大部分の大学進学できない者への対応策を軽視する傾向にある。とりわけ以下のような問題が目立っている。

---

\*<sup>1</sup> 畢 春玲 ハルビン工業大学外国語学院日本語学科助手

\*<sup>2</sup> 柯 勁松 東北師範大学大学院博士課程1年

まず、都市部と農村部の経済格差が激しく、農村学校の就学率がまだ低く、また教員不足、学校施設不備などの教育環境の問題である。次に、僻地の農村地域社会では、農民の知識・技術水準が低く、農業生産性が低いことは特徴である一方、農村学校の生徒も受験競争に巻き込まれ、その大部分がいわゆる進学失敗者となり、農業に従事するが、しかし学校で習ったことは農事に役立つ内容ではない。従って、まだ豊かになっていない農民は教育への期待感及び子どもを学校に行かせる意欲が薄くなった。これが就学率上昇の支障になっており、学校教育及び農民(成人)教育の内容・構造調整は問われるところである。第三に、かつて日本の僻地学校を持つ市町村は財政も乏しく、農業経営も小規模で生産性が低く、生活水準も低位であり、学校の施設・設備も劣悪であった。しかし、義務教育費国庫負担法や僻地教育振興法などによって教育環境が大きく改善されてきた。これは中国の農村・へき地教育を考える上で極めて有意義なことであり、中国農村教育の法的整備や行政改革が要請されている。また、多くの農村地域では教育経費の不足・低下、教員給料の遅配・不払い、中退率の高さ、中堅教員の流出、過重な学習負担、教育効率の低下など、多くの弊害が指摘されている。

このような問題を解決するために、政府は1987年から過去の改革経験をまとめた上で広範で大規模な「農村教育総合改革」を実施し、ほぼ同時（1989年）に、民間レベルでは募金をもとに農村貧困地域の教育環境整備と貧困家庭子どもへの教育援助を行う「希望プロジェクト」（希望工程）が全国的に展開されている。

## I 本研究の目的

以上を踏まえ、本研究では農村・へき地教育に視点を当てて、特に初等教育、前期中等教育を中心に1987年から1999年までの農村地域での義務教育普及、学校教育構造改革と国民質向上における改革動向を考察することを目的とする。柯・門脇（1999）は、へき地・小規模校教育の視点から、日本のへき地教育用語、状況と比較しながら中国のへき地・農村における教育実態を分析した<sup>(注2)</sup>。本稿はその続きとして、1999年現在までの中日両国における中国農村教育の先行研究を整理することを目的とする。また、1987年から開始された農村教育総合改革の中で、「全国農村教育総合改革実験区指導要綱」の持つ意味を検討しながら、改革の背景と経緯に触れ、この改革の中で最も重要な構成部分である「燎原計画」の実施および総合改革の成果などを別稿で考察したい。なお、柯・門脇（2000）は農村教育総合改革と同じく「両基」達成を目標とする民間レベルの農村教育援助プロジェクト「希望工程」の実施状況及び成果について検討した<sup>(注3)</sup>。これらを通じて、「改革・開放」以来、20世紀の中国農村教育改革の実践像を明らかにしたい。

## II 先行研究について

歴史的に見れば、産業革命と共に、社会構造が根本的に変化し、伝統の一元的社会構造から二元的社会構造、すなわち伝統的農業部門と近代的工業部門という二元に分化した。資本主義社会初期と現在多くの開発途上国において、この「二元的社会構造」が特に顕著である。資本主義諸先進国では、工業化程度が高く、二元的社会構造が段々変わり、一元的農業社会→二元的社会→一元的工業社会のような変容が実現されている。これによって、「農村」という概念の含む意味が変化し、また「農村教育」の内包も変わってきた。門脇氏（1989）は、日本における「農村教育」の概念について、岩波小辞典「教育」（1956年初版1982年増補改訂）の定義「一般に資本主義の発展が都市と農村の間に社会経済的落差をもたらし、それに対応した農村地域的特殊性を背景として、そこで行われる教育、あるいはそれに対して行われる教育」であることを引用し、日本では「農村教育」という場合、学校教育より、社会教育や産業教育を中心に理解される傾向にある、と指摘した<sup>(注4)</sup>。

ところが、中国では「農村教育」が県及び県以下の農村地域社会に対する教育であり、基礎教育、職業教育、成人教育を含むとされ、それに当たる英語表現はRural Educationである。また、Rural Educationの日本語訳は、同氏によれば、今日では「農村教育」と「へき地教育」の二つにほぼ限定されている。しかし、「へき地教育」という用語は、「比較的新しい、日本独特の教育用語」であり、「諸外国でも」、「直接的に該当する用語は使用されていないようである」<sup>(注5)</sup>。中国においても、「へき地教育」に当たる教育用語がなく、「農村教育」は日本の僻地教育に相当する内容を有しているが、それより範囲が広く、むしろ、僻地教育を含む農村教育とってよい。したがって、中国の農村教育は、Rural Educationと同様で、「へき地教育」と訳されたり、「農村教育」と訳されたりすることができると思われる。以上によって、農村教育とへき地教育を統合して本研究を「中国農村・へき地教育研究」と名付けた。

現在の中国は典型的な「二元的社会構造」であり、都市部と農村部との発達度の差が著しく、農村教育と都市教育との相違も明らかである。その根源は、農村・都市間の生産力の差異にもあり、教育レベルによる農村・都市間の人的資質の差異にもある。従って、「農村教育」という概念は「農村」と「都市」との分化により生まれ、同時に、農村教育と都市教育とのへだたりは農村、都市の両極端をもたらした。

中国にとっては、農業を主とする伝統社会から機械生産と商品交換に基づく工業社会への移動が、他の開発途上国と同じく、国の第一義的な問題である。今日の中国農村では、都市化、工業化が進んでおり、特に農村が経営している企業「郷鎮企業」の発展はそれに拍車を掛けている。黄氏（1995）は、中国農村地域の工業化過程における中等職業教育の拡大や、近代部門と伝統部門の二重性格を持つ「郷鎮企業」の発展を浙江省紹興県の事例で考察し、職業高校と「郷鎮企業」の相互依存関係という特徴の存在は、農村の自発的な工業化や、戸籍制度に基づく地域移動の制限など、いくつか中国社会に特有な要因が働いているためである、と指摘した<sup>(注6)</sup>。初等教育拡大については、李氏（1995）は、中国初等教育が大きな発展を遂げた1950年代から70年代までの期間に焦点を当て、河北省陽原県の事例を中心に、生

産手段の集団所有制や、統制された協同労働、生産・生活の全分野を包括すること、という三つの特徴を持つ「人民公社」が、教育の供給側である政府と需要側である農民との間の相互作用の「場」として役割を果たしたことを実証研究し、人民公社という特殊環境の存在は中国初等教育に他の途上国と異なる発展形態をもたらした、と指摘した<sup>(注7)</sup>。

以上は異なる時期の中国農村地域における初等教育拡大と中等職業教育拡大のメカニズムを究明した先行研究である。ここからは、農村の義務教育推進及び成人（農民）教育について従来の研究を分析する。

大塚氏<sup>(注8)</sup>は、義務教育に関わる解放前の状況を紹介し、特に共産党指導下のソビエト区及び解放区の教育が、当時の社会・経済状況に適合するものとして発展したことを評価した。興味深いのは、「大衆が自ら興した学校、いわゆる民営ないし民主の学校が数多く生まれ」、また、「施設・設備の完全を求めず、ありあわせの施設・設備で、教えられる者が教え、学べる時に学び、しかも現実の生活に密着した内容を教えることに徹した学校運営方式」のことである。この教育理念は建国後の多様な学校運営と弾力性のある教育政策につながってきたと思われる。

成人教育の第一段階である識字教育について、若林ら（1995）は、新中国建国以来40年間の識字率向上の成果を紹介し、これまでの識字教育の展開と特徴を明らかにした。また、貧困地域教育援助プロジェクト「希望工程」をも紹介したが、それは例として簡単に触れたことに止まった<sup>(注9)</sup>。なお、柯・門脇（2000）は、中国農村教育における重要な構成部分であるこの民間レベルの教育援助「希望プロジェクト」の展開のプロセスを明らかにした。

本研究の方向は中国農村教育改革であるため、日本語における資料・論文を調べたところでは、先行研究が極めて少ないことに気付いた。その中に、1980年代から発足した「農村教育総合改革」のメイン・イベントである「燎原計画」とその主要な目的・方針である「農・科・教の結合」について論述したのは次の二人である。牧野氏（1994）は、安徽省徽州地区において進められている地域独自の教育改革への取り組みを紹介し、農村教育総合改革の最も重要な内容「農（業）・科（学技術）・教（育）の結合」は、教育が経済に従属するのではなく、経済よりも一歩先んじて経済を先導するものでなければならないことを、実践としてはっきりと示すものであるという結論を出した。また、この農村教育改革の動きの特徴は、共産党一党専制を形式上の建前としながら、国家の経済発展至上主義から導かれる自主権拡大の論理をテコに、地域独自の教育体系を形成し、結果的に国家中央からの遠心力を強めていこうとしているところにある、という指摘もなされている<sup>(注10)</sup>。

また、農村教育総合改革の主な戦略である「燎原計画」について、鄧氏（1999）はその定義と目的、方法及び成果を整理・概括した<sup>(注11)</sup>。しかし、「燎原計画」のこの農村教育総合改革における位置づけや意義、及び全体との関連が論及されず、またこの計画の実施過程の前半を考察しただけに止まり、その継続的發展は解明されていない。なお、日本語文献の中には私の知っている限りでは、唯一といってよい程、中国農村教育の中の複式授業に触れたのは李氏<sup>(注12)</sup>である。しかし、残念ながら、もともと日本から伝わってきた複式授業方式こそは中日両国の教育交流を示すものであるが、李氏の論文ではわずか500字ぐらいの紹介

内容に止まった。柯・門脇（1999）はその後、複式編制・複式授業を含めて「へき地教育」用語の比較及び農村・へき地教育の実態を考察した。

以上、日本語における中国農村・へき地教育の先行研究を見てきた。その量的不足のことは言うまでもないが、本研究では、それらを参考にして活かしたい。また、中国語文献については、資料入手の難しさということもあって、全部の原文に目を通すことができず、資料2においてその題名と日本語訳、キーワードを添えることに止まった。ただし、その出典である「中国当代教育研究成果概観」（原語：中国当代教育教研成果概覽）と「中国人民大学雑誌新聞資料センター 複写資料」（原語：中国人民大学書報資料中心 複印報刊資料）とを併せると、中国農村教育総合改革開始（1987年）から1999年までの農村教育関係文献がほぼ全部収録されていると思われるので、資料2のリストをまとめたことが一定の意義を有することであろう。なお、資料2において、複式教育以外の農村教育関係文献（A）と複式教育関係文献（B）を分けてまとめた。

### Ⅲ 資料1：中国農村教育関係文献（日本語）リスト（1984－1999年刊行）

1. 「中国の教育改革（その1）、（その2）」文教課 レファレンス 1986年9月号No. 428、10月号No. 429 国立国会図書館
2. 文部省「海外教育ニュース」第5集（1983年）、第6集（1984年）、第9集、第10集（1990年）
3. 主要国の教育動向1990-1991年 「海外教育ニュース」第11集 文部省大臣官房調査統計企画課 1992年
4. 村の小学校 李洵 アジア読本「中国」 曾士才等編 河出書房新社
5. 中国農村地域における民弁学校の活性化と地域の人づくりにむけての課題 ——湖南省の貧困県桑植県における実地調査から 阿古智子 国際開発研究フォーラム第5号 名古屋大学大学院国際開発研究科 1996.6
6. 中国における教育の発展 ——人民公社と初等教育 李洵 教育社会学研究第56集 1995年
7. 中国農村地域の工業化過程における中等職業教育の社会的機能 ——浙江省紹興県を中心に 黄丹青 教育社会学研究第56集 1995年
8. 「民族」の解放と「大衆」の形成 ——陶行知「郷村」改造運動期主体形成論の構造と特徴 牧野篤 名古屋大学教育学部紀要（教育学）第44巻第1号 1997年
9. 中国農村教育改革に関する一考察 ——安徽省徽州地区「農科教三結合」の試みを一例に 牧野篤 名古屋大学教育学部紀要（教育学科）第41巻第2号 1994年
10. 公教育理念の史的構造 ——社会主義中国の場合 大塚豊 日本の教育史学 教育史学会紀要第29集
11. 「改革・開放」下中国の民営学校 ——その復活の背景と現状 木山徹哉 日本比較教育学会第35回大会発表資料 1999年6月

12. 中国農村における女性教育と計画出産 鄧秀 日本比較教育学会第35回大会発表資料  
1999年6月
13. 「解放」前中国における郷村教育運動 ——中華平民教育促進会をめぐって 新保敦子  
東京大学教育学部紀要 第24巻 1984年
14. 近現代の中国における識字教育 ——晏陽初の平民教育運動を中心にして 張海英・田  
湖五十生 奈良教育大学紀要 第41巻第1号(人文・社会) 1992年
15. 中国識字教育の歴史的経験と今後の展望 若林満・李益文 名古屋大学教育学部紀要(教  
育心理学科) 第42巻 1995年
16. 現代中国の教育改革 平原春好 神戸大学教育学部研究集録 第83集 1989年
17. 中国の農民学校における人口教育の展開と問題点 鄧秀 筑波大学教育学系論集 第18  
巻第2号 1994年
18. 中国：中央集権体制の変容 ——地方や大学の権限拡大 石井光夫 教育と情報 平成  
5年1月号
19. 中国教育体制改革における権限分担変容の一考察 唐寅 九州大学教育学部紀要(教育  
学部門) 第38集 1992年
20. 中国における農村教育改革の動向 ——燎原計画の教育実践 鄧秀 筑波大学「比較・  
国際教育」第7号 1999年
21. 経済発展戦略としての教育改革 ——人材育成のために広範で大規模な改革を推進 石  
井光夫 教育と情報 平成11年2月号
22. 中国の成人教育に関する一考察 ——その概念と歴史的変遷を中心に 陸素菊 名古屋  
大学教育学部紀要(教育学) 第44巻第1号 1997年
23. 中国中等教育改革の当面の諸問題 詹瑞令(大塚豊 訳) 比較教育学研究16 日本比較  
教育学会編 1990年

#### IV 資料2：中国農村教育関係文献(中国語と日本語訳)リスト(1980-1999年刊行)

(注：論文タイトル(+日本語訳)/(キーワード)/著者名/出所/年月日、の順番である)

##### A：複式教育関係以外

1. 采取特殊措施加快貧困山区教育事業的發展(特別措置を取り、貧困山間地の教育發展を  
加速)/(特別な政策、問題点、特殊措置)  
/許海瀛・李海維/中国人民大学報刊資料選彙 G50農村教育/1986.2 p28-32
2. 發展農村教育的一項重大措施(農村教育發展に関する一つの重大な措置)/(分権的運  
営、分権的管理、改革)/章杉/中国人民大学複印報刊資料 G50農村教育/1985.1 p51-52
3. 努力實現農村教育跨世紀的騰飛——深化農村教育綜合改革研究(農村教育の飛躍を實現  
せよ：農村教育綜合改革研究の強化)/(十年間の実践、教育体制改革)/趙家驥・謝家訓  
/中国人民大学複印報刊資料 G5成人教育与其他類型教育/1999.1 p69-76

4. 深化農村教育綜合改革、促進經濟社会全面發展（農村教育綜合改革を深化、經濟・社会の全面的發展を促進）／（甘肅省張掖地区、事例報告）  
／梁国安／中国人民大学複印報刊資料 G 5 成人教育与其他類型教育/1998.2 p 71-73
5. 統一認識、振奮精神、奪取“国家貧困地区義務教育工程”建設的新勝利（奮起して認識を共通にし、「国家貧困地区義務教育プロジェクト」の新たな勝利を実現せよ）／（プロジェクト実施状況、指導・管理を強化）／許琳・楊念魯／人民教育/1998.3 p 27-29
6. 実施“燎原計画”与農村教育綜合改革的展望（「燎原計画」実施と農村教育綜合改革の展望）／（政府指導の強化、政策的支援へ、持続的発展）  
／俞恭慶／中国人民大学複印報刊資料 G 5 成人教育与其他類型教育/1997.3 p 69-75
7. 深化農村教育綜合改革、促進農村社会全面進歩——山西農村教育綜合改革情況介紹（農村教育綜合改革を深化、農村社会の全面的發展を促進：山西省農村教育綜合改革事例紹介）／（山西省、農村教育改革、十年間）  
／曹福成／中国人民大学複印報刊資料 G 5 成人教育与其他類型教育/1997.3 p 75-80
8. 深化農村教育綜合改革、推進農村建設全面進歩（農村教育綜合改革を深化、農村地域の全面的發展を推進）／（上海市青浦県、事例報告）  
／郭善泰／中国人民大学複印報刊資料 G 5 成人教育与其他類型教育/1996.6 p 63-65
9. 深化農村教育改革的“立交工程”——对实施燎原计划的幾点構想（農村教育改革強化の立体的プロジェクト：「燎原計画」実施についての構想）／（生産力向上、潜在力、具体案）  
／沈培新／中国人民大学複印報刊資料 G 5 職工教育与其他類型教育/1989.2 p 68-70
10. 農村職業技術教育体系初探（農村職業技術教育体系に関する一考察）／（客観的規定要因、内面的意味、中国的特色）  
／曹五四／中国人民大学複印報刊資料 G 5 職工教育与其他類型教育/1989.2 p 71-75
11. 農村教育綜合改革面臨的新課題（農村教育綜合改革における新しい課題）／（運営体制、教育構造、農・科・教連携、教育と文化の結合）  
／石迪人・王国強／中国人民大学複印報刊資料 G 5 成人教育与其他類型教育/1995.3 p 68-72
12. 試論提高農村教育綜合改革実験的科學水平（農村教育綜合改革実験の質向上について）／（問題点、理論的理解、質向上）  
／楊士昌・高興華／中国人民大学複印報刊資料 G 5 成人教育与其他類型教育/1995.3 p 72-76
13. 改革農村中学教育、打開人材通向農村的道路（農村中学教育を改革、人材を農村へ導入）／（黒龍江省集賢県、事例調査報告、問題点）  
／張景儀・孟繼承／中国人民大学報刊資料選彙 G 50 農村教育/1986.1 p 41-47
14. 90年代浙江省農村教育發展戰略研究（1990年代の浙江省農村教育發展戰略研究）／（經濟發展動向、教育と經濟、提案）／浙江省教育科學研究所課題組／教育研究/1992.8
15. 談農村中学教育觀念更新（農村中学教育觀の更新について）／（地域經濟發展、人材提供、生産労働との結び）／李樹桐／東北師大学報（教育科學版）/1988.3

16. 積極探索貧困地区農村弁学的新模式（貧困地区の農村学校運営における新方式）／（安徽省梅里小学校、幼－小－中＋1年職業技術教育の一貫性）／丁学礼/安徽教育/1993. 11
17. 辺貧山区基礎教育的困境与对策（へんぴ貧困山間地の基礎教育における問題点と対策）／（教育機会均等と学費高、脱山村志向、教員不足、資金調達難）／華德耀/安徽教育/1994. 3
18. 農村小学教研効率低的原因及对策（農村小学校の教育研究の低効率における原因と対策）／（三つの原因、五つの提案）／欧孝春/湖北教育/1994. 5
19. 農村中小學生綴学現象面面觀（農村小・中学校の中途退学現象について）／（貧困、諸雜費、低進学率、宿題の圧力、新「讀書無駄論」、入学ピーク）／李印芳/中国教育報/1993. 8、総1594号
20. 中国農村教育的偉大變革——農村教育綜合改革十年回顧与展望（中国農村教育の變革：農村教育綜合改革の十年間と展望）／吳德剛/農村教育/1997. 6
21. 山区教育的惡性循環不能再繼續下去了（山間地教育の惡循環を根絶）／（封建的風習、長期計画、政策改善、地域住民の質向上）／房舒明/山西教育/1987. 11
22. 解決女童入学問題、實現普及教育（女兒入学問題を解決、普及教育を實現）／（經濟力、男尊女卑、宗教民族風習、学校設置、教育水準、女教師定着）／孫毓潔/教育探索/1988. 4
23. 蘇南農村小学教育現代化個案研究（蘇南地域の農村小学校教育近代化の事例研究）／（江蘇省吳江市梅捨鎮中心小学校、教育近代化）／胡繼淵・陳文彬/江蘇教育研究/1994. 2- 5
24. 農村家庭教育面面觀（農村地域の家庭教育について）／（農村家庭教育分類、改善策）／陶治国/安徽教育科研/1994. 3
25. 我国貧困地区普及教育的現狀及对策（わが国の貧困地区における普及教育の現狀と対策）／（問題点、提案）／劉文華/山東教育科研/1995. 4、5
26. 弁好農村中小学的成功之路——南鄭県分級弁学分級管理的調查（農村小・中学校運営の成功例：南鄭県の分権的運営・分権的管理に関する調査）／（事例分析、農村教育改革、分権制のメリット）／余德海/陝西教育/1988. 2
27. 農村教育經濟学散論（農村教育經濟学について）／（教育投資、コスト、教育資源管理・利用、学校設置、經濟効果、教育水準、農村教育と經濟）／王火生/江西教育科研/1988. 5
28. 農村教育綜合改革探討（農村教育綜合改革に関する研究）／（普通教育・職業教育・成人教育の一体化、綜合制高校）／賀光荣/基礎教育研究/1991. 5
29. 農村高中畢業生跟踪調查（農村高校卒業生に対する追跡調査）／（湖南省中部、調查報告、農村高校卒業生、農村經濟振興への役割）／梁阜球/人民教育/1987. 5
30. 試論農村教育整体改革的側重点（農村教育の全面改革における重点について）／（事例調査、農村教育現狀、全面的改革）／許漢雲/浙江教育科学/1990. 3
31. 淺談農村富裕戶子女的教育問題（農村部裕福家庭の子どもに対する教育の問題点）／（道德教育、農村地域裕福家庭、子ども教育）／趙金明/中国当代經濟義化教育研究与思考/1994
32. 農村少年犯罪与農村教育環境（農村部における少年犯罪と農村教育環境）／（少年犯罪事例分析、家庭教育、学校教育、社会教育）／曹陽明/教育理論与实践/1992. 3
33. 对当前農村学生流失的思考（昨今の農村地域生徒の中退現象に関する一考察）／（讀書無



- 馱論、女兒入学難、諸雜費高、学校魅力の欠乏、対策) / 杜学竜/寧夏教育/1993. 12
34. 農村教育歴史回顧と対農村中学改革的探討 (農村教育の歴史を振り返って農村中学改革を考察) / (五段階に分類、問題点) / 匡計洪/北京師院学報/1988. 4
35. 試論目前我国農村教育的問題与出路(今日の我が国農村教育の問題点と解決策について) / (義務教育普及、教育機会均等、教育構成) / 黄志紅/江西教育科研/1997. 3
36. 積極推進農村教育綜合改革為農村社会發展作貢獻 (農村教育綜合改革を推進、農村地域社会の發展に貢献) / (農村教育と經濟、農・科・教の結合、基礎・職業・成人教育連携、素質教育) / 「農村教育綜合改革与農村社会全面進歩」課題組/上海高教研究/1998. 1
37. 深化農村教育綜合改革、促進農村社会全面進歩 (農村教育綜合改革を深化、農村地域社会の全面的發展を促進) / (農村教育と經濟、農・科・教の結合、基礎・職業・成人教育連携、素質教育) / 「農村教育綜合改革与農村社会全面進歩」総課題組/教育研究/1997. 5
38. 農村初中学生流失の原因及对策 (農村中学校生徒中退の原因と对策について) / (經濟状況、読書無馱論、教師の質、学校選択、進学中心、法的意識) / 牛泉/人民教育/1998. 3
39. 高師函授教育是提高貧困地区農村初中教師素質的一條有効途徑 (高等師範通信教育：貧困地区農村中学校教師の質向上に有効的な手段) / (教師の質向上、高等師範通信教育) / 肖昌義/四川師範学院学報 (哲学・社会版) /1998. 2
40. 關於發展我国農村教育的幾個認識問題 (我が国の農村教育發展に関する認識問題について) / (教育の經濟効果、教育の目的、教育体系・構成) / 李仲謀/學術界/1987. 6
41. 關於農村基礎教育質量与效益的評價指導思想問題 (農村基礎教育の質と効果・利益を評價・指導する際の方針について) / (山西省、農村小・中学校、教育評価) / 肖垠/教育理論与实践/1987. 6
42. 農村教育要培養本地区的建設人材 (地元發展の人材育成に役立つ農村教育について) / (教育・經濟一体化、基礎・職業・成人教育連携、地方政府) / 聶洪澤/教育研究/1988. 7
43. 深化農村教育改革面臨的選択——“分流”還是“滲透”(農村教育改革強化における選択肢：「分流」か「浸透」か) / (經濟的・社会的環境、基礎教育、職業教育) / 侯曉明・張愛国/教育理論与实践/1988. 5
44. 農村基礎教育实行分級管理的若干問題思考 (農村基礎教育の分權的管理に関する一考察) / (付加教育費の徴収、人事管理、民弁教師・代用教師) / 陶侃/教育理論与实践/1989. 3
45. 試論農村教育与農村經濟的發展 (農村教育と農村經濟發展について) / (農村教育、農村經濟、関連性、教育改革) / 馬正成/教育科学論壇/1989. 4
46. 試論我区農村教育轉向的必要性 (当地区の農村教育方向轉換における必要性について) / (学校運営、人材観、經濟効果、道德教育、職業技術科目) / 黄銘璋/學術論壇/1980. 1
47. 創立農村教育新体系的設想 (農村教育新体系の構想について) / (地元經濟貢獻、教育理念、教員の質、地方政府) / 吳其恩/教育科学論壇/1989. 2
48. 論社会主义初級階段農村教育的改革 (社会主义初級段階における農村教育改革に関する一考察) / (社会主义初級段階、進学中心、教育と經濟の連携、職業教育、労働技術教育、成人教育、教員の定着、教員の質向上、学校運営) / 王北生/教育理論与实践/1989. 1

49. 農村中学辮学的社会効益亟恃提高——初中畢業生回郷後表現的追踪調查（農村中学校運営の社会的効果・利益の低下：中卒者の帰村後における不評の追踪調查）／（現状、原因、悪影響、対策）／張景儀／教育研究／1986.10
50. 加強農村教育綜合改革理論研究工作（農村教育綜合改革的理論的研究を強化）／（人材養成、地元經濟、職業教育と基礎教育、学校運営、地域活性化）／雷克嘯／教育研究／1996.8
51. 農村初中布局應進行調整（農村中学校の配置調整について）／（学校設置、地元經濟、教員資質、教育水準、学校運営効果）／李樹桐／現代中小學教育／1992.6
52. 農村小学布局的發展趨勢（農村小学校配置の方向性について）／（一村一校、多村一校）／董鉄舫／湖南教育／1990.5
53. 農村教育改革應貫徹先基礎教育、後分流的原則（農村教育改革における「先に基礎教育、後に分流」政策の徹底について）／（經濟周期、教育周期、教育の法則、教育機會均等、經濟・社会の發展）／丁国華／安徽教育学院學報（社会科学版）／1989.1

#### B：複式教育關係文献

1. 複式班電化教学初探（複式学級での視聽覚教育に関する一考察）／（複式学級、視聽覚教育、利点、注意点）／王立德／四川教育／1991.2
2. 複式教学瑣談（複式教育について）／（2学年複式学級、学年組合せ、指導案、教授法、直接指導と間接指導、宿題、担任）／楊仕懿／四川教育／1990.7、8
3. 複式教学中動静的科学搭配（複式教育における「動：直接指導」と「静：間接指導」のアレンジ）／（直接指導、間接指導）／王立德／四川教育／1988.5
4. 複式班音樂教学の実験報告（複式学級での音樂授業に関する実験報告）／（問題提起、実験の過程、授業構成、同教材異達成度）／孫澤聖／湖北教育／1989.7、8
5. 提高村小質量的有効途径——複式聯教（村小学校の質を高める有効な手段：複式連携授業）／（複式連携授業、巡回制、異学校同教科）／余丙軍／湖北教育／1994.1、2
6. 小学複式班備課和上課的常規要求（小学校複式学級の授業準備と講義における通常条件）／（直接指導、間接指導、並行型指導案）／趙啓竜／河南教育／1991.1
7. 複式小学怎樣為發展当地經濟服務（複式小学校の地元經濟發展への役割について）／（労働技術教育、職業教育、実践コーナー、モデル提示）／陳其活／人民教育／1990.12
8. “同堂異科”複式教学的潜在優勢（「同学級異教科指導」複式教育の潜在性について）／（複式授業、異教科指導）／賀梅林／江西教育／1994.4
9. 複式教学改革实验的实践与研究（複式教育改革实验の实践と研究について）／（实验報告、複式教育、教育改革）／申克端／中国教育學刊／1995.2
10. 運用協同理論、提高複式教学整体効率（「協同理論」による複式教育の効率向上について）／（实践研究報告、湖南省益陽市桃江县三官橋郷吳家椴小学校）／蔣秀章／小学教学研究／1995.10
11. 培養複式教学師資問題——对県級師範学校改革的一点思考（複式教育における教員養成の問題点：県レベル師範学校の改革に関する一考察）／（複式教育、教員養成、学校運営、

- 入試制度、専門的技能の訓練、師範学校) /王徳苓/中師教育研究/1994.5
12. 複式班“静”中教学“八性”(複式学級の「静:間接指導」における「八の注意点」) / (間接指導、複式学級、直接指導) /陳建国/河北教育/1995.12
  13. 複式教学課堂結構縱横談(複式教育の授業構成について) / (縦:異学年間のずらし、横:同学年の順番、臨時的わたり) /牛熙然/山東教育/1990.1、2
  14. 複式課堂教学結構改革(複式授業構成の改革について) / (縦の構成:同学年の内容の流れ、横の構成:異学年間の指導の組合せ、直接指導、間接指導) /陳建国/河北教育/1990.6
  15. 複式班課堂教学的最優控制(複式学級における授業構成コントロール法について) / (複式授業、効率向上、時間、学習内容量、順序、達成度、指導) /牛熙然/山東教育/1987.9
  16. 重視複式教学、加快普及初等義務教育的步伐(複式教育を重視、初等義務教育普及を加速) / (寧夏南部山間地、複式授業、事例報告) /任耀華/寧夏教育研究/1993.10
  17. 談複式教学中的搭配(複式教育における授業構成アレンジに関する一考察) / (直接指導、間接指導、授業構成のアレンジ) /陳靖/雲南教育/1984.2
  18. 小学複式教育学(小学校複式教育学) / (1986年版教科書、中等師範学校、補完教材、教員研修) /陳楹/雲南教育/1990.10
  19. 複式教学專題講座(複式教育講座) / (小学校複式教育、複式教授法、学級管理、指導法、授業構成) /楊斐然/中国人民大学複印報刊資料/1992.4
  20. 農村小学複式教学的理論与实践(農村小学校複式授業の理論と実践) / (「農村教育改革研究シリーズ」の一冊、複式教授法、教材作り、指導案) /王徳苓/教育科学出版社/1992
  21. 複式教学中彈性作業種種(複式教育における「対応型」宿題の種類について) / (個人差、分別対応、宿題分類、基礎型、展開型、先頭型) /翟生明/福建教育/1993.6
  22. 単式複教課堂教学結構的研究与实践(単式学級における複式教授法の研究と実践) / (単式学級、複式教授法、個人差対応、実践報告) /李大淵/四川農村日報/1995.11.15

(注:資料2は主に「中国当代教育教研成果概覽」新華出版社 1996年と「中国人民大学書報資料中心 複印報刊資料」1999年までの各号により整理)

## おわりに

中国農村教育は特に農村教育総合改革と希望プロジェクトの実施を通して、就学率の上昇、職業教育の強化などで確かに大きな成果を挙げている。しかし、平等主義を特徴とする計画経済から効率的競争主義の市場経済への移行にも象徴されるように、初等・中等教育の拡大・発展が、競争的、効率的の方向に向かいつつあることは明らかであるが、全体的に見れば、農村教育はその構造、管理体制、内容・方法、カリキュラムなどがまだ計画経済体制下で形成された旧パターンから離れておらず、競争と変化に富む市場経済体制に迷っていることが改革過程で露呈したことは確かである。「富強国家」実現に向けた農村教育政策の改善をさらに徹底させ、農村教育改革の正しい理念・政策による誘導が緊急な課題となり、その

政策論的研究が必要である。

なお、日本の明治、大正時代にわたって存在していた産業教育を中心とした実業学校や実業補習学校、そして教育内容の切り捨ても認めた簡易小学校や教育所、などが現代中国農村教育の状況と類似しているところが少なくない。同じく教育普及・整備の段階における教育現象の比較研究は、かつて日本で成功した経験を活かして中国農村教育に示唆を与える意味で有意義なことと考え、今後の課題としたい。

## 註

1. 1990年代半ばでは、通常「農民9億」といわれているが、これは戸籍上の意味で、実際に農村部に住んでいる農村住民が約8億、ほかの1億の農村戸籍人口が出稼ぎなどの目的で都市部に住む。その8億の農村住民の中から、児童・高齢者と農業以外の生産労働に従事する者を除いたら、本当の農業従事者が4.6億人になる。
2. 「中国の『へき地教育』的な教育用語に関する一考察：中国の農村・へき地における教育（その1）」柯 勁松・門脇 正俊 「僻地教育研究」54号、1999年 北海道教育大学僻地教育研究施設
3. 「農村貧困地域における民間組織支援活動：中国の教育援助プロジェクト『希望工程』について」柯 勁松・門脇 正俊 「年報いわみざわ」21号、2000年 北海道教育大学岩見沢分校
4. 「『へき地教育用語』の歴史的系譜についての一考察」門脇 正俊 「僻地教育研究」43号、1989年3月 北海道教育大学僻地教育研究施設
5. 「へき地・小規模学校についての比較教育学的一考察」門脇 正俊 「年報いわみざわ」初等教育・教師教育研究、1987年 北海道教育大学岩見沢分校
6. 本稿資料1の7を参照。
7. 本稿資料1の6を参照。
8. 本稿資料1の10を参照。
9. 本稿資料1の15を参照。
10. 本稿資料1の9を参照。
11. 本稿資料1の20を参照。
12. 本稿資料1の4を参照。